広報こばやし みんなでてなむ 笑顔あふれる じょじょんよかとこ 小林市 2025.SEP
KOBAYASHI 9
No.234

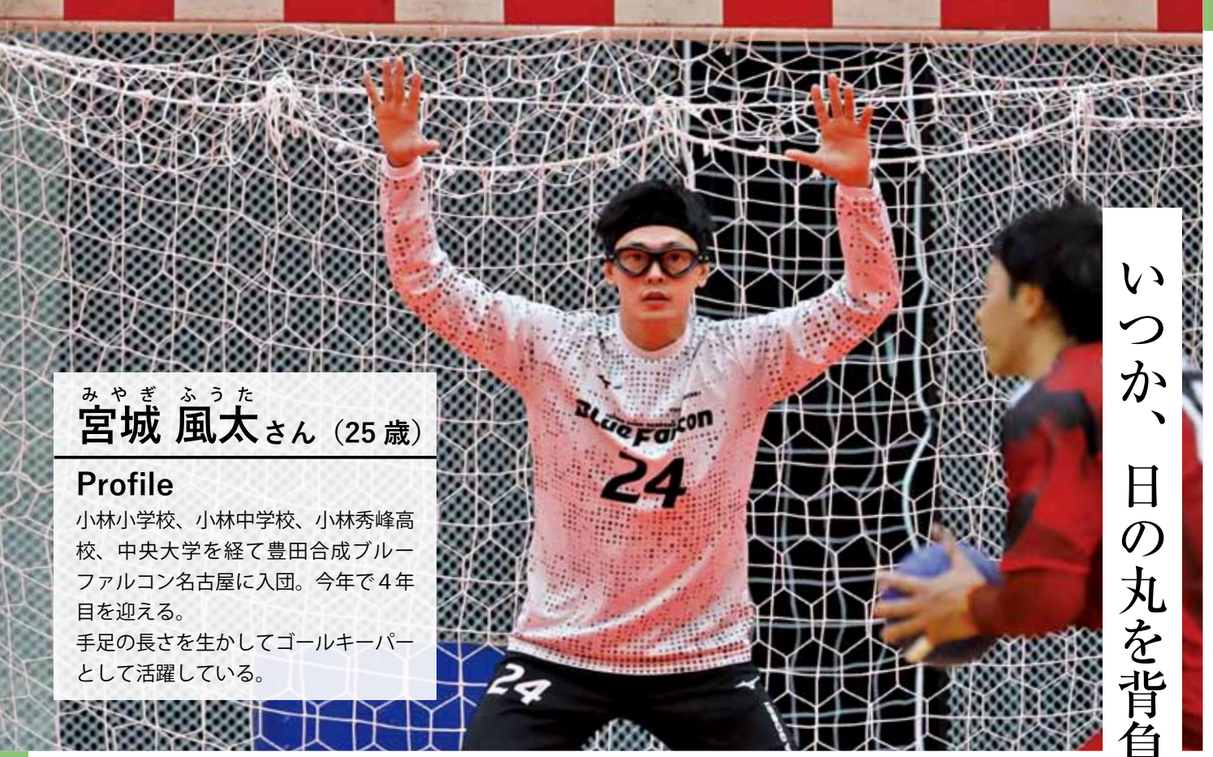
ハッシン コバヤシ!!

特集 THE RAMPAGE（ザ ランペイジ）
吉野北人（よしのほくと）さんが
市の魅力を伝える
プロモーションの第３弾がスタート

小林人
国内最高峰の
ハンドボールリーグで活躍中
宮城 風太（みやぎ ふうた）選手

特集
未来へつなぐ、みんなの学び舎
「豊かな学び支援室」
がオープン

PhotoReport
須木の夜空を彩る夏の風物詩
小林市すき納涼花火大会



いつか、日の丸を背負う日を目指して――

宮城 風太（みやぎ ふうた）さん（25 歳）

Profile

小林小学校、小林中学校、小林秀峰高校、中央大学を経て豊田合成ブルーファルコン名古屋に入団。今年で４年目を迎える。
手足の長さを生かしてゴールキーパーとして活躍している。

国内最高峰のハンドボールリーグ「リーグH」の強豪「豊田合成ブルーファルコン名古屋」でゴールキーパーとして活躍する若き守護神がいる。

それは、昨年行われた「日本ハンドボールリーグ選手権大会」で最優秀選手賞を獲得した宮城風太さんだ。

決勝戦は終盤までリードされる展開が続く中、流れを変えるために投入された宮城さん。チームを救う体を張ったキーピングを連発し、試合の流れを変えた。試合時間残り2分で同点に追いつき、延長戦でついに逆転。見事、チームを5連覇に導いた。

宮城さんがハンドボールを始めたのは小学3年生。「ボールを投げるのが好きで、すぐにハンドボールの楽しさに引き付けられた」。その後も中学、高校と続け、中央大学に進学。大学4年時には日本一に輝き、日本代表の合宿にも招集された。

そして、自信を持って実業団に挑戦。しかし、その道のりは平坦なものではなかった。

入団後すぐに、網膜剥離（もうまくはくり）を発症し、1年目は1試合に出場したのみ。復帰に3カ月もかかり、精神的にもかなり落ち込んでいた。

そんな時支えになったのは、両親をはじめ地元で応援してくれる人たちの存在だった。

「今でも試合の応援に来てくれたり、帰省する度に温かく迎えてくれるのが原動力になっている」と笑顔で語ってくれる。

そんな宮城さんは今後の目標について聞くと

「宮崎を代表するハンドボール選手になって、日の丸を背負いたい」。

宮城さんの鉄壁の守備が日本のゴールを守る日が待ち遠しい。

令和６年の日本ハンドボール選手権大会で５連覇を達成し、MVP を獲得。「１年間で１人だけの賞なので、とてもうれしかった」と笑顔で振り返る

「コートプレイヤーはポジションを交代できるが、ゴールキーパーは誰でもはできない唯一無二のポジション」とゴールキーパーのやりがいを話す

小林人
こばやしびと
Vol.130

市政の動きトピックス

宮崎国スポ・障スポ×市役所若手職員

県内初！大会を盛り上げる庁内プロジェクトチームを結成

令和９年に開催される「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」を盛り上げる市役所若手職員のプロジェクトチームを結成し、７月30日に結成式を開催しました。同チームはさまざまな部署に所属する20～30代の職員10人で構成され、結成は県内初。特に若い世代をターゲットにした大会の機運醸成や、全国から訪れる多数の選手や関係者などへ向けた本市の魅力発信等に取り組みます。

持続可能な地域づくりを進めるために

「改築する野尻庁舎に交流機能を」市民懇話会が市に提言書を提出

８月６日、野尻庁舎改築市民懇話会（竹原信一（たけはらしんいち）会長）から改築と複合施設化に関する提言書が提出されました。同会は「耐震強度が不足しており早急な整備が必要であること」、「人口減少を見据えた複合施設化を進め、市民交流機能を含む施設にすること」などを提言。竹原会長は「事業を契機に将来にわたる野尻町区域の活性化と市全体の安心安全な住民生活の維持を願う」と話しました。

CONTENTS

広報こばやし
No. 234
2025 September 9

02 市政の動きトピックス
03 小林人／国内最高峰のハンドボールリーグで活躍中　宮城風太選手
04 特集／吉野北人さんが市の魅力を伝えるプロモーションの第３弾がスタート
06 特集／「豊かな学び支援室」がオープン
10 こばやし Topics
14 PhotoReport ／小林市すき納涼花火大会
15 ミニ特集 戦後 80 年 未来へ繋ぐ、平和への祈り―
16 おしらせ
18 KOBASPONEWS
19 ロバートのコラム／ PickUp Information
20 教育委員会からのお知らせ／きずな協働体通信
22 手話で話そう！／健幸のまちづくり拠点施設整備つうしん／元気の知恵袋
23 図書館からのお知らせ／こばまち便り
24 くらしのカレンダー
26 Instagram& 広報こばやし／地域おこし協力隊通信
27 心の花びら／ SUKUSUKU ／こすモ～日記

今月の表紙

スペシャルＰＲ大使　吉野北人さん

表紙は、本市出身でこばやしスペシャル PR 大使を務める吉野北人さん（THE RAMPAGE）。市とコラボし、一昨年に第１弾、昨年に第２弾の PR 動画を公開し、SNS を中心に大きな話題を呼びました。今回、第３弾として新たに 13 本の PR 動画を制作。８月７日から市公式 SNS で順次公開しています。（詳細記事は４ページ）

吉野北人さんが市の魅力を伝える プロモーションの第3弾がスタート

ハッシン コバヤシ!! feat.よかにせ 吉野北人 シーズン3

株式会社LDH（エルディーエイチ）JAPAN（ジャパン）所属で、本市出身のこばやしスペシャルPR大使（ザ）・吉野北人（よしのほくと）さんと連携したPR事業の第3弾がスタートしました。

一昨年の第1弾、昨年の第2弾の反響を受けて、今回も吉野さん主演の動画やポスターなどを制作。市内各地で撮影した動画13本、ポスター・カード12種類のシリーズとなります。

多くの方がロケ地を観光 反響を呼んだ第1・2弾

第1弾・第2弾では、生駒高原の星空や小林市産の宮崎牛など、吉野さん本人の思い出深い場所やおすすめの魅力を映像化した動画を市公式SNSで公開。合計閲覧数は3千万回を超え、年間に延べ数千人がロケ地を観光（うち約7割が県外から来客）。全国のファンが遠路はるばる小林市まで〝聖地巡礼〟に訪れるほどの反響を呼んでいます。

第3弾は、8月7日から順次公開中。仲町の居酒屋で撮影された1本目の「#今日もいい夜」篇は投稿から1週間で45万回以上閲覧されています。

関連キャンペーンで新たな小林市ファン獲得へ

今後、動画と関連したさまざまなキャンペーンを実施予定です。動画にちなんだ特産品などを都市部で販売する期間限定ショップの開催、ロケ地巡りで地域周遊を促す企画などを準備中。小林市の魅力発信を図ることで本市の関係人口の創出や認知度向上、地域経済への波及を目指します。

天候に恵まれた6月の撮影

撮影は6月上旬、梅雨の合間の晴天の中、市内の観光地や飲食店などの12カ所で行われました。一部の動画には、市民が共演し、ロケハン（撮影隊の事前調査）や装飾・小道具の準備などにも多くの市民が関わった撮影となりました。

動画や関連情報については、市ホームページ内特設ページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

▲詳細はこちら

動画は、第1・2弾と同様にスマートフォンでの視聴に適した縦型の1本20秒から50秒程度の短時間構成。小林市の観光スポットや特産物などの魅力をデート風の演出で紹介したり、市民と共演するなど小林市の多彩な魅力がふんだんに詰め込まれた内容13本となっています

▲カード

▶ポスター

各動画のロケ地で撮影した吉野さんのポートレート写真が掲載されたポスターとカード。ロケ地やイベントで掲示するほか、プレゼント企画を予定しています

未来へつなぐ、みんなの学び舎。
「豊かな学び支援室」がオープン

●問＝学校教育課　TEL 23-0424

変化する教育環境と教育課題の多様化

近年、全国で進む少子化に伴い、学校に通う子どもたちの数が減っています。

平成12年に約5500人いた市内の児童生徒数は、現在、約3200人。この25年の間に4割以上少なくなりました。このまま少子化が進むと想定した場合、25年後の令和32年には、約1900人にまで減少する見込みとなっています。

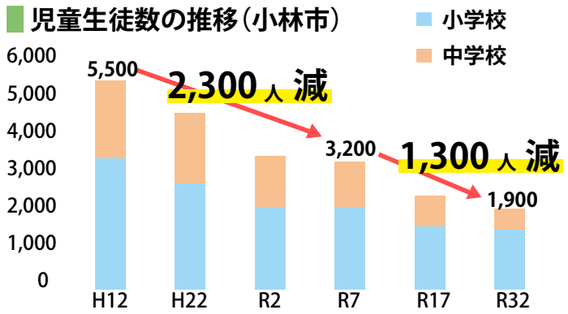
子どもたちを取り巻く環境の変化は子どもたちの数だけではありません。

この25年で私たちの暮らしは大きく変わりました。特に、多くの人がスマートフォンを手にし、SNSで気軽につながることができる社会になったことは、子どもたちの生活やコミュニケーションのあり方を一変させました。

一方で、このような急激な変化は教育現場に新たな課題も生み出しています。

SNSでのトラブルがきっかけとなるいじめや、さまざまな理由から学校に行きづらさを感じる不登校の児童生徒は全国的に増加傾向にあり、小林市も決して例外ではありません。

子どもたち一人ひとりが抱える悩みは複雑化しており、学校だけの力で対応することが難しくなっているのが実情です。



また、世界中の情報に瞬時にアクセスできる便利な時代になった一方で、未来を生きる子どもたちには、単に知識を覚えるだけでなく、あふれる情報の中から正しいものを見極め、自ら考える力、そして多様な価値観を持つ人たちと協力し合うコミュニケーション能力など、より実践的な能力が求められています。

そして、子どもたちの多様な能力を伸ばしていくためには、教職員自身も時代の変化に対応し、常に指導技術を磨き、学び続ける必要があります。

こうした社会の急激な変化に対応するためにも、教育は学校だけが担うものではなく、家庭、そして地域社会全体で子どもたちを支え、育んでいく仕組みづくりが求められています。

地域で支える学び舎（や）「豊かな学び支援室」

こうした現状と課題を踏まえ、これからの小林市を担う子どもたちの学びを支えるため、市は8月20日、新たな教育支援の拠点として「小林市豊かな学び支援室」を開設しました。

この施設は、これまで別々の場所にあった支援機能を集約し、子ども、保護者、地域、そして学校をつなぐ3つの役割を担っています。

第一に、児童生徒の多様な学びに応じた支援です。学校に通うことが難しい子どもや保護者のための総合相談窓口として、学習支援はもちろん、多様な学びの機会を通して一人ひとりの社会的な自立を力強くサポートします。

第二に、協働の学校づくりの推進の拠点です。保護者や地域住民の皆さんが学校運営に参加しやすくなるよう、その「架け橋」となり、地域総ぐるみで子どもたちを育てる、魅力ある「地域とともにある学校づくり」を進めます。

第三に、教職員の研究・研修の充実に向けた拠点です。教職員の指導力を高めるための研修を企画・支援し、市の教育全体の質の向上を目指します。

今回開設した「豊かな学び支援室」は、子どもたちが、ふるさと小林に自信と誇りを持ち、変化の激しい社会を力強く生きていく力を育むための拠点です。

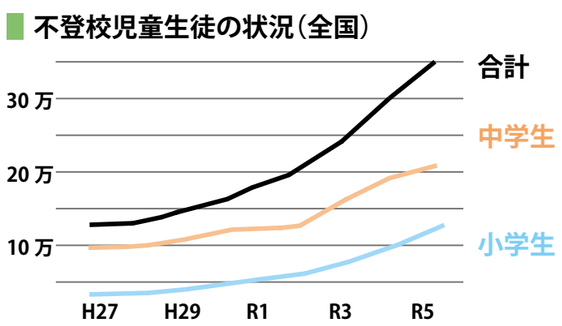
この「豊かな学び支援室」を新たなスタート地点として私たちが主役となり、地域全体で子どもたちの未来を応援していきましょう。

▲施設はテナムビル2階、木育キッズスペースがあった部屋をリフォームして開設

▲学校に通うことが難しい子どもたちの保護者の相談スペース。いつでも、どんなことでも相談できます

▲午前中は学校に通うことが難しい子どもたちの学習室。午後は誰でも自由に使用できます

▲8月20日の開所式の様子



豊かな学び支援室の3つの役割を紹介

児童生徒の多様な学びに応じた支援の拠点

小林市教育支援センター「ふれあい学級」

豊かな学び支援室では、さまざまな事情で学校に通うことが難しい児童や生徒を支援するため「ふれあい学級」を設置しています。

学習や体験的な活動を通して自主性を養い、将来への社会的自立等につながるよう支援しています。

ふれあい学級では学習と体操の時間を設定。学習では学校と連携し、本人の思いを大切にしながら学習内容を決定し進めています。

子どもたちと関わる支援員らは実際に学校で教職員として活動をしてきた経験豊富な人材などを中心に構成。教職員になることを希望する、南九州大学の学生もふれあいサポーターとして子どもたちを支援します。

今後、月に一度、体験活動を企画し活動の幅を少しずつ広げていきます。

ふれあい学級 Q&A

どのようなことをするのですか？

学校と連携して、本人の思いを大切にしながら学習や活動内容を定め、進めていきます。分からないときや困ったときは、支援員を中心に個別に寄り添い、支援します。

どのような方法で通えばいいですか？

徒歩や自転車、保護者による送迎など、本人に合った方法で通うことができます。

保護者へのサポートなどはありますか？

相談はいつでも受け付けています。お子さんの家庭での生活や進路のことなど、お気軽にご相談ください。

【相談窓口】０９８４－２３－００２８

Information

対象

市内の小中学校に在籍する児童生徒

利用時間など

月曜～金曜

8：30～12：00

※夏休み、冬休み、土日、祝日等は除く

Interview

南九州大学4年
【写真左】川畑姫菜（かわばたひな）さん（野尻中出身）
【写真右】吉野喜生来（よしのきなた）さん（小林中出身）

私たちは、将来、学校の先生になることを目指して大学で勉強しています。この度ご縁があって、「ふれあい学級」のふれあいサポーター活動をすることになりました。ここは、さまざまな理由で学校に通うことが難しい子どもたちのための大切な居場所です。

これからふれあいサポーターとして活動する上で、私たちが大切にしたいのは、子どもたち一人ひとりとしっかり向き合い、まずおしゃべりをすることから始めることです。そして、ここを子どもたちにとって「いつでも気軽に来られる、自由な場所」にすることです。「行きたいな」と思った時にふらっと立ち寄れて、安心して過ごせるような温かい空間づくりのお手伝いができればと思っています。

私たちは２人とも小林市出身です。こうして大好きな地元で活動できることが本当に嬉しいです。これから始まる子どもたちとの出会いに、今から胸をふくらませています。

協働の学校づくりの推進拠点

こばやしスクールサポートボランティアセンター（KSSVC）

これまで中央公民館に設置していましたが、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して取り組む活動を推進するために移設しました。

地域の教育力を学校の教育に生かすことで、さまざまな体験活動の実現や郷土愛の醸成、地域の活性化などの効果が期待できます。

小林市キャリア教育支援センター

市内小中学校と地元産業界や地域社会の連携・協働によるキャリア教育の構築と児童生徒の産業界に対する理解を深めるために商工会議所に設置しています。

今後はKSSVCと連携を強化し、児童生徒が主体的に自らのキャリアを形成できるように支援します。

教職員の研究・研修の支援の拠点

小林市教育研究センター

児童生徒と直接向き合い授業を行う教職員の学びを支援するために、研究員として委嘱された教職員が研究を進めます。

研究員による授業を公開するとともに、実践を通して得られた成果と課題を市内の教職員に発信します。

小林教育の〝新たな一歩〟

これまでの本市における教育は、学校と家庭、地域、各種ボランティアなどによる連携・協働（協働の学校づくり）によって、確実に力強く進展されてきました。

しかし、時代の変化に伴い、本市におきましても少子化や学校の小規模化、不登校児童生徒の増加、情報化社会への対応など、新たな課題の波が押し寄せてきております。

これからは、小林教育の伝統や強みを継承しつつ、時代の変化に合わせた教育を柔軟に展開していく必要があります。

そこで、このたび「小林市豊かな学び支援室」を設立しました。この支援室では、協働の学校づくりと不登校支援、そして教員研修の連携強化と一体的な運用を図ることで、児童生徒と教職員の豊かな学びの実現を目指します。

例えば、不登校児童生徒への支援については、学校以外の場所でも、将来の社会的自立に向けて一人一人が豊かに学べる環境を整える必要があります。

そこで、協働の学校づくりの機能をいかして、大学生ボランティアとの交流やICTを利用した学習、地域での体験活動などに取り組みます。

また、この支援室は先生方の学び場でもあります。

よりよい授業や効果的なICTの活用について研究を行い、学んだことを各学校で活かすことで、市全体が豊かな学びにつなげていきます。

豊かな学び支援室が、子どもたちと先生方の未来に向けた学びの一歩となるように、これからも取り組みを進めてまいります。

小林市教育委員会
大山和彦（おおやまかずひこ） 教育長

心の支えになる〝居場所〟

私は昨年度まで教職員として働き、今年度からKSSVCでアドバイザーとして小林市の教育に携わってきました。その中で「学校と地域のつながり」は子どもたちにとってとても良い教育環境になっていると感じてきました。

今回、少しでも子どもたちや先生方の力になりたいと思い、支援室の室長を引き受けました。

まずは、児童生徒と保護者、先生に対する支援を行い、さらに地域の教育の力を活かしていきます。

支援室では、主に、私をはじめ支援員2人が常時指導にあたりますが、南九州大学の学生たちもふれあいサポーターとして、週に1回程度指導にあたります。学生の若い力に期待しています。

学習は児童生徒との関係を大事にしながら、勉強したいことややりたいことをベースに、それぞれにあった活動を進めていきます。

また、地域の教育力を生かして勉強だけではなく、KSSVCを通じた体験的な活動も少しずつ導入していきたいです。

そして、ここで育った「社会的自立」の自信が学校に向かう気持ちや社会に飛び立つ気持ちにつながってほしいと願っています。

また、もう一つの役割である教育研究センターでは、研究員である先生方がICTを使った授業の研究を進めていきます。市内の先生方にとって変わっていくICT教育について学べる場所になっていければいいと思います。

これから、豊かな学び支援室の名前にふさわしい場所にしていき、一人でも心の支えになる場所になれたら嬉しいです。

豊かな学び支援室
湯川昌一（ゆかわしょういち） 室長

市の産品を使用した新商品 クラフトジン「山麓 GIN」が完成

市民団体「KOBAYASHI ni ALE（花本大介会長）」が市の産品を使用したクラフトジン「山麓GIN」を開発し、８月11日にお披露目会を開きました。商品は、須木酒造の芋焼酎をメインに市内で採水した天然水を使用し、須木地区特産のゆずで香り付け。使用しているゆずは規格外品を用いることで、食品ロス削減にも貢献しています。

花本会長は「完成に１年半かかったが、想像以上に良いものができた。小林市産品を材料にしてお酒が作れると証明できた」と話していました

拠点施設整備共同企業体の 畜産物消費拡大協力に感謝状贈呈

７月30日、小林市健幸のまちづくり拠点施設の受注業者である共同企業体（代表前田建設工業）が昨年に続き、畜産物の消費拡大に寄与したため、小林市畜産振興会連合会から感謝状が贈呈されました。市長は「物価高騰の中、たくさんの購入に感謝している。おいしいお肉を食べて、暑い夏の作業も乗り切ってもらいたい」と激励しました。

写真㊧から前田建設工業㈱下田さん、㈱坂下組山城さん、坂口建設㈱山口さん。２年間で８７万円余りの畜産物を購入しました

300年以上継承されてきた岩戸神楽 「長刀の舞」など勇壮な舞を披露

７月30日、岩戸神社（堤地区）で岩戸神社六月灯が行われ、岩戸神楽保存会（田原治男会長）が「岩戸神楽」を奉納しました。本神楽は、300年以上前から引き継がれたもので、五穀豊穣を願って毎年実施。面を被った３人が舞う「天の岩戸びらき」や「剣の舞」、「長刀の舞」の３番が披露され、観客から拍手が送られにぎわいました。

田原会長は「初めての舞い手もいる中練習不足な部分もあったが、無事に奉納できて良かった。今後も若い世代に引き継いでほしい」と話しました

永久津小と内海小、オンラインによる合同学習で交流を深める

７月16日、永久津小学校と内海小学校（宮崎市）の３、４年生がオンラインで国語の合同学習を行いました。この学習は友達だけでなく、初めて会う人にも自信を持って自分の意見を発表できる力を育んでほしいと両校の担任が計画。児童らはコマについて調べてまとめたことを説明したり、実際にコマを回すなどして交流を深めました。

西種子田淳さん（永久津小４年）は「最初は緊張したけど、やってみて楽しかった。これからも他の学校と交流してみたい」と笑顔で話していました

時任幸信さんに人権擁護委員を委嘱

人権擁護委員として、時任幸信さんが法務大臣から委嘱されました。任期は令和10年６月30日まで。毎月「人権・行政・なやみごと相談」を開催していますので、気軽に相談ください。（相談日は毎月の広報紙に掲載しており、今月は25㌻に掲載しています。）

市内小学生対象の「ドイツ絵画教室」

８月２日、市役所で市内小学生を対象としたドイツ文化交流事業を開催しました。事業はドイツ大使館主催の絵画コンテストに合わせて企画した絵画教室。参加した児童11人は「わ！ドイツ」をテーマに、それぞれの思うドイツの絵を描き上げました。

落語通じて地域社会に貢献したい 落語会が市に寄付金を贈呈

８月12日、にこすけ亭みやざきイチ推し落語実行委員会（末元陽代表）が市に約10万円を寄付しました。寄付金は、同会が今年の３月に落語家の春風亭一之輔さんを招いて開催した落語会の収益金。末元代表は小林市出身の19歳で、市教育フォーラムや敬老会をはじめ県内各地で落語を披露するなどボランティア活動を行っています。

末元さんは「落語は笑いや想像力で人の心を豊かにしてくれる文化芸術。寄付金はふるさと、小林市の文化芸術の振興に役立ててほしい」と話しました

㈱サザンクロスシステムズが 教育環境の充実を目的に寄付

７月30日、ソフトウェア開発などを手掛ける株式会社サザンクロスシステムズ（永田英一郎代表取締役社長）が100万円を寄付しました。企業版ふるさと納税制度を活用したもので、寄付金は同社の意向により市の教育環境の充実に活用されます。本市出身の永田社長は「IT人材の育成に使っていただければ」と話していました。

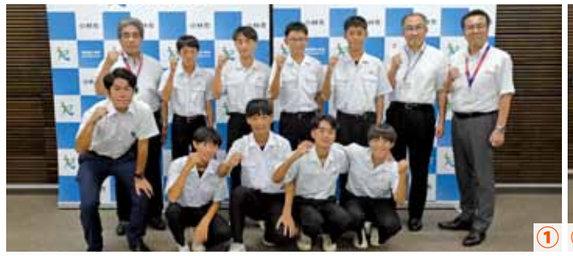
同社からの寄付は令和３年度に始まり今年で４回目。贈呈式終了後、市内の小中学校でも進んでいるICT教育などについて、意見が交わされました

こばやしPR大使の寺田匠選手 欧州王者に１ラウンドKO勝利

７月13日に行われた「K-１DONTAKU」で、こばやしPR大使の寺田匠選手がWKU欧州スーパーウェルター級王者に１ラウンド１分58秒でKO勝利したことを報告しました。試合はこれまでよりも階級を上げた59㌔で初めての挑戦。寺田選手は、身長が10㌢も高い対戦相手に身長差をものともしない戦いぶりを見せました。

寺田選手は「次戦からは現階級の57.5㌔から階級を１つ上げた60㌔に挑戦するが、階級を上げても王者を目指す」と意気込みを話しました

市内中学校部活動



①小林中学校男子ソフトテニス部
②小林中学校女子ハンドボール部
③小林中学校新体操部
④小林中学校陸上駅伝部
⑤小林中学校柔道競技
⑥野尻中学校柔道競技

全国中学校体育大会

【個人競技】（学年）　※敬称略

▼小林中学校陸上駅伝部
田中優哉（３年）／小河内優駿（３年）
▼小林中学校柔道競技　平野心結（３年）
▼野尻中学校柔道競技　南郷龍登（３年）

九州中学校体育大会

【団体競技】
▼小林中学校男子ソフトテニス部
▼小林中学校女子ハンドボール部
▼小林中学校新体操部

【個人競技】（学年）　※敬称略

▼小林中学校陸上駅伝部
田中優哉（３年）／今別府琥一（３年）／小河内優駿（３年）
新倉佐彩（３年）／木村舞花（３年）／竹村梓希（１年）
▼小林中学校柔道競技　平野心結（３年）
▼野尻中学校柔道競技
南郷龍登（３年）／吉脇一心（３年）

－全国・九州大会への意気込み－

・小林中学校男子ソフトテニス部　高田弦空さん（３年）
「九州大会では、宮崎県代表として恥じないプレーをし、優勝して全国大会への切符をつかみ取りたいです」
・小林中学校女子ハンドボール部　鶴野由茉さん（３年）
「43年ぶりに県大会で優勝し九州大会への出場を決めました。３年間で学んできたことを全て発揮し、今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、精一杯プレーしてきます」
・小林中学校新体操部　山田航さん（３年）「大会前にチームの中心である主将がケガをしてしまいましたが、チーム一丸となって練習をしてきました。九州大会では今までの練習の成果を発揮し、精一杯頑張ります」
・小林中学校陸上駅伝部　小河内優駿さん（３年）「日頃の努力の成果を十二分に発揮し、チームの６人全員が表彰台に上がれるように頑張ります」
・小林中学校柔道競技　平野心結さん（３年）「九州大会は優勝を目指し、全国大会では１つでも勝ち上がれるよう頑張ります」
・野尻中学校柔道競技　南郷龍登さん（３年）「ベストを尽くし、１戦でも多く戦えるよう頑張ります」

九州大会・全国大会に出場するスポーツ団体が市長を表敬訪問
宮崎県代表の誇りを胸に、大会での活躍を誓う

各種県大会を勝ち抜き、九州大会や全国大会に出場を決めたスポーツ少年団や中学校部活動などをはじめとする選手たちが市長を訪問。県大会の報告と上位大会への意気込みを話し、市長が激励しました。

①小林 JVC　②小林看護医療専門学校
③サンライズスポーツクラブ　④小林伝志館道場
⑤小林新体操クラブ

小林ＪＶＣ

６月に開催された第45回全日本バレーボール小学生大会宮崎県大会（男子の部）で優勝し、８月４日から７日まで東京都を中心に開催される第45回全日本バレーボール小学生大会全国大会に出場します。馬崎颯賀さん（小林小６年）は「全国大会で１試合でも多く試合できるように頑張りたい」と意気込みました。

小林看護医療専門学校

６月に開催された第38回宮崎県専修学校各種学校スポーツ大会でバレーボール女子が優勝、硬式テニス男子で安藤星哉さんが準優勝、卓球個人男子で住吉遥斗さんが準優勝し、11月に佐賀県で開催される九州大会に出場します。安藤さん（２年）は「優勝まであと１歩届かなかった悔しさを糧に九州大会で優勝を目指す」、住吉さん（１年）は「九州大会まで練習を積み重ねて１球１球集中して試合に臨みたい」、女子バレーの山角萌恵さん（２年）は「県大会ではいい試合ができた。練習を重ねて九州大会も頑張りたい」とそれぞれ意気込みました。

サンライズスポーツクラブ

６月に開催されたみやざき県民総合スポーツ祭で、小林市あかつき福祉協会事務局長赤木一夫さんが所属するチームが卓球バレーで優勝し、10月に滋賀県で開催される全国障害者スポーツ大会に出場します。赤木さんは「本当にスポーツが生きがい。大会ではいい結果を報告できるように頑張りたい」と意気込みました。

小林伝志館道場

５月に開催された第40回宮崎県道場少年剣道大会で全国大会団体出場枠を勝ち取り、７月30日に日本武道館で開催される第59回全国道場少年剣道大会（中学生の部）に出場します。山下魁童さん（野尻中３年）は「練習の成果を十分に出し切って、１試合ずつ勝ち上がっていきたい」と大会への想いを話しました。

小林新体操クラブ

７月に開催された九州小学生体操大会新体操宮崎県選手選考会で小林新体操クラブＡが優勝、小林新体操クラブＢが準優勝し、８月19日、20日にかけて沖縄県で開催される第39回九州小学生体操大会に出場します。清田光さん（南小６年）は「団体では最低でも３位を目指して、個人では１位を目指したい」と話しました。

戦後80年　未来へ繋ぐ、平和への祈り ――

木の上の軍隊の監督が小林市を訪れる

太平洋戦争の終戦を知らずに、沖縄県・伊江島の木の上で２年間過ごした日本兵の実話に基づく映画「木の上の軍隊」の平（たいら）一紘（かずひろ）監督らが８月27日に小林市を訪れました。映画に出てくる兵士２人のうち、モデルの１人は小林市出身の山口静雄（やまぐちしずお）さん（享年78歳）。同日、平監督は市内にある静雄さんのお墓を訪れ、静雄さんの次男・輝人（てると）さんと共に墓前に手を合わせました。また、翌28日には市長を表敬訪問。平監督は「映画の感想で多かったのが『２人が帰った後、どこに帰ったのか見たい』というもの。お墓参りをして、輝人さんと一緒に手を合わせて、木の上で帰りたかった風景はここだったのかと思い、映画が本当の意味で完成した気がした」と話しました。山口輝人さんは「映画を通じ、平和を考える機会にしてもらえるとうれしい」と話しました。

機銃掃射があった西小林で慰霊祭

８月10日、西小林小学校グラウンドにある慰霊塔の前で戦没者追悼法要慰霊祭が開催されました。にっこばまちづくり協議会（下別府明（しもべっぷあきら）会長）が主催し、遺族や地域住民など約30人が参列。慰霊碑に花と線香を供え、戦後80年の節目に、平和への誓いを新たにしました。慰霊祭は、昭和20年８月10日に西小林国民学校の児童たちが西小林駅近くで米軍機の機銃掃射を受け10人が亡くなったことから、毎年開かれています。

西小林の機銃掃射が題材の演劇を上演

小林市を拠点に活動する劇団25馬力（神水流（かみづる）じん子（こ）代表）と都城市の劇団こふく劇場（永山智行（ながやまともゆき）代表）が８月９日と10日に演劇「小林三姉妹～幸せのパン種～」を上演しました。劇は西小林国民学校（現在の西小林小学校）の児童らが米軍機の機銃掃射で尊い生命を奪われた悲劇を知った劇作家の故・藤井貴里彦（ふじいきりひこ）さんが戦争の悲しみを忘れてはならないと同劇団のために書き下ろした作品です。物語は昭和30年代初めコバヤシ市、営業休止中のパン屋「タロのパン」を舞台に展開。機銃掃射で娘を亡くし、心身を病んだパン職人の父を支える母と三姉妹らが店の再開を目指す悲喜こもごもの奮闘劇に、訪れた多くの観客は笑い、涙を流していました。

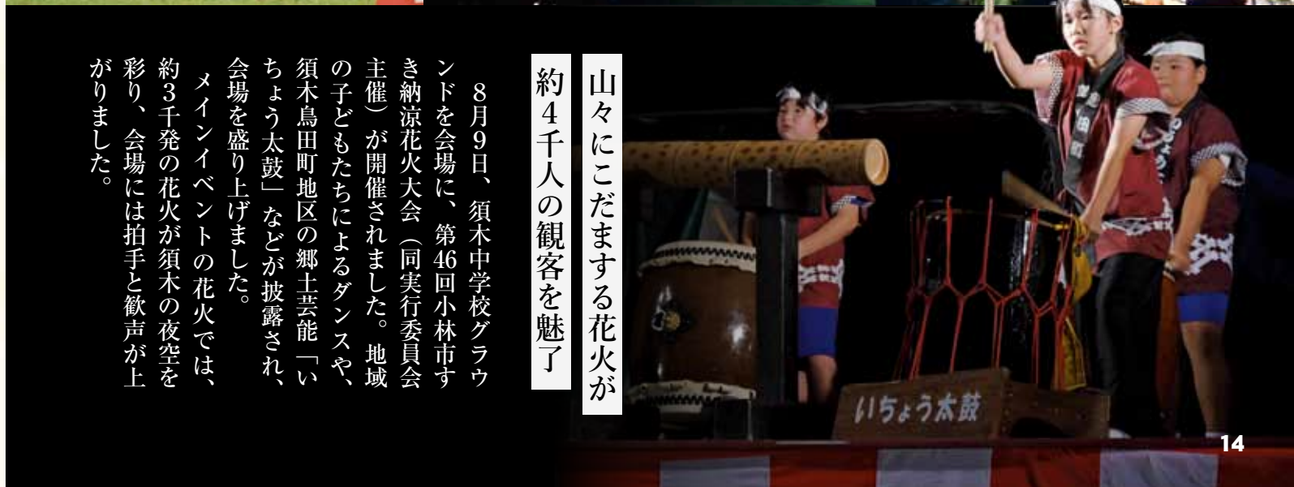
PhotoReport　須木の夜空を彩る夏の風物詩

第46回 小林市すき納涼花火大会

山々にこだまする花火が約4千人の観客を魅了

8月9日、須木中学校グラウンドを会場に、第46回小林市すき納涼花火大会（同実行委員会主催）が開催されました。地域の子どもたちによるダンスや、須木鳥田町地区の郷土芸能「いちょう太鼓」などが披露され、会場を盛り上げました。

メインイベントの花火では、約3千発の花火が須木の夜空を彩り、会場には拍手と歓声が上がりました。



保健・福祉

ゲートキーパー養成講座

「ゲートキーパー」とは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなげ、見守る人のことです。小林市の自殺死亡率は、全国、県と比べ高い水準が続いています。ゲートキーパーの基本や上手な話の聴き方について学び、誰も自殺に追い込まれることのない居心地の良い小林市を目指して、できることからはじめませんか。

◆日時　9月26日（金曜）
13時30分～16時30分
◆場所　保健センター
◆講師
ヒューマン工房
代表　待木（まちき）美奈子（みなこ）さん
◆内容
▼ゲートキーパーの役割
▼上手な話の聴き方
◆定員　35人程度
◆参加費　無料
◆申込方法　電話
◆申込締切　9月19日（金曜）
●申・問・健康推進課
TEL 23-0323

案内

令和8年度新入学児童就学時健康診断

4月に小学校へ入学する児童の健康診断を実施します。

◆時間　13時30分開始予定（受付　13時～13時30分）
◆その他
詳細は、10月初旬までに発送する文書を確認ください。
●問・学校教育課
TEL 23-0424

入学予定の学校	日程	健康診断の実施場所
野尻・栗須・紙屋小学校	10月15日（水曜）	友愛会館（社会福祉協議会）
細野・西小林・幸ヶ丘小学校	10月23日（木曜）	文化会館
小林小学校	11月12日（水曜）	文化会館
三松・須木小学校	11月14日（金曜）	中央公民館
南・東方・永久津小学校	11月27日（木曜）	文化会館

イベント情報

陰陽石まつり

宮崎観光遺産に認定されている陰陽石で祭りを開催。魚のつかみ取りやステージイベント、グルメマルシェなども開催。子どもから大人まで楽しめるイベントです。

◆日時　9月23日（火曜）
10時30分～
◆場所　陰陽石公園
◆駐車場
東方研修館／東方小学校
※無料シャトルバス有り
●問＝商工観光課　TEL 23-1174

すきむらんど「須木栗フェア」・「栗まつり」

フェア期間中は毎日生栗やむき栗、焼き栗などを販売します。すき栗まつりでは、栗生産者自らの直売コーナーと栗加工品、須木の物産品やグルメの販売も行います。

◆日時
・須木栗フェア　9月1日（月曜）～10月31日（金曜）
・すき栗まつり　9月27日（土曜）～9月28日（日曜）
10時～15時
◆場所　すきむらんど駐車場
●問（須木栗フェア）＝商工観光課　TEL 23-1174
●問（すき栗まつり）＝須木庁舎地域振興課　TEL 48-3130

9月21日は「認知症の日」

9月21日を「認知症の日（世界アルツハイマーデー）」、9月を「認知症月間」として普及啓発を行います。期間中は市役所本庁舎を啓発のイメージカラー『オレンジ』にライトアップするほか、庁舎をオレンジの花で彩ります。家族や周囲の人と認知症について話してみませんか。

◆ライトアップ期間
9月17日（水曜）～9月24日（水曜）
19時～21時
◆場所
市役所本庁舎

●問＝長寿介護課　TEL 23 - 1140

第63回福祉しょっぷEmi-Asu

障がいについての理解促進を図るため、障がい福祉サービス事業所などで作った製品を展示・販売します。

◆日時　9月18日（木曜）　10時～13時
※商品が売り切れ次第終了
◆場所　市役所本館1階　多目的スペース
◆展示・販売商品
クッキー、パン、ドレッシング、加工食品、季節の野菜・果物、手工芸品、木工品など

●問＝福祉課　TEL 23 - 0111

学校の在り方に関する意見交換会（後半）を開催します

●問＝学校教育課　TEL 23-0424

学校の在り方に関する意見交換会を7月から8月にかけて6校区で開催しました。後半の6校区は10月から11月にかけて、下記の日程で開催します。

この意見交換会は、今年の2月に市教育みらい検討委員会から提出された「小林市立学校の在り方に関する提言書」を受け、保護者や地域住民などの意見に耳を傾け、小林市ならではの学校づくりを進めていくために開催しているものです。

子どもたちを育む大切な場である「学校」の未来を、みんなで一緒に考えましょう。

意見交換会の開催日程（後半）

校区名	開催日	場所	時間
野尻小	10月8日（水曜）	野尻小体育館	19時～
栗須小	10月15日（水曜）	栗須小体育館	
紙屋小	10月22日（水曜）	紙屋小体育館	
三松小	10月29日（水曜）	三松小体育館	
小林小	11月5日（水曜）	小林小体育館	
南小	11月12日（水曜）	南小体育館	

提出された提言書の概要

【小学校】

地域との結びつきが強く、地域コミュニティの核としての役割を担っていること、通学距離や時間が増えると子どもの心身の負担が増加することなどから、当面は、可能な限り現状を維持していくことが望ましい。

【中学校】

一定数の集団を必要とする学習活動を行う際の選択肢の確保が求められること、発達の段階に応じた人間関係の構築ができるような環境整備が必要であることなどから、地理的な条件や地域性を踏まえた再編を行い、適正規模を実現していくことが望ましい。

平和のバトンをつなぐために

この夏は、戦争の悲惨さや平和の尊さを改めて感じる季節となりました。

終戦直前にあった西小林での空襲で犠牲になった方々の慰霊祭では、ご遺族のお話を伺うことができました。

劇団25馬力などによる演劇「小林三姉妹～幸せのパン種～」や、終戦を知らずに木の上で2年間生き延びた2人の日本兵を描いた映画「木の上の軍隊」も鑑賞しました。

いずれも涙が出るほど心を揺さぶられたとともに、どんな状況にあってもあきらめず、生き抜き、そして平和をつないでいくことの重要性を学びました。

戦後80年を迎え、戦時中や過酷な戦後を生きぬいた先人たちから託された平和のバトンは、今、私たちが手にしています。

映画「木の上の軍隊」は、登場した兵士のうちの1人が小林市出身の方をモデルにしたものであったことから、市民の皆さんの関心が非常に高く、小林市でもぜひ上映してほしいという要望を多くいただきます。

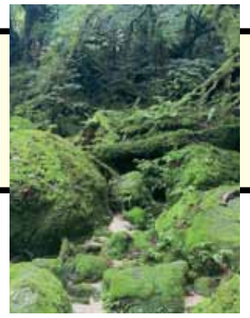
ぜひ、多くの方にご覧いただけるよう実現に向けて取り組んでまいります。

宮原市長のコラム
「信念を貫く」
Check! Volume.33

国際交流員 ロバートのコラム

「神秘的な森」

●問＝地方創生課　℡23-1148



私が『もののけ姫』を初めて見たのは、おそらく中学生の頃だったと思います。ジブリのアニメ映画は、日本だけでなくドイツでも非常に人気で、テレビアニメとは違い、特別なカテゴリーの作品として受け取られています。1990年代後半には、1994年の『ライオン・キング』や1997年の『ヘラクレス』など、ディズニー映画が大ヒットしていたことから、ジブリ作品が視聴者の支持を得るのは難しかったのではないかと思われます。なぜかというと、「アニメ映画は子ども向けの娯楽にすぎない」という通説が当時広まっていたためです。しかし、『もののけ姫』は、複雑なストーリー構成や意味深いキャラクターデザイン、そしてキャラクターの成長によって、単なる「善と悪の戦い」とは言えない作品となっています。言うまでもなく、芸術的でスタイル的にも大きな違いがあるでしょう。

それはともかく、約30年前にプレミア上映された『もののけ姫』は、今でも芸術的に非常に印象的な作品であることに変わりはないと思います。この映画に描かれている森や自然は、実は屋久島の杉林を参考にして描かれたものです。面白いことに、そんなことは全く知らずに、私はちょうど7月に屋久島を訪れました（笑）。

雲水峡や屋久杉ランドという観光スポットで配布されていた案内マップなどに「もののけ姫の森のモデルになった場所」と書かれているのを読んで初めて知りました。体力的にきつく、長いトレッキングコースでしたが、やはり映画のような神秘的な森が広がっていて、サルにも出会いました！

一番驚いたのは、アニメの制作者たちが、モデルとなった場所の雰囲気を細部まで忠実に描き出せるということですね。とても楽しい旅でした。

PickUpInformation

こばやし健幸ポイント

企業対抗ウオーキングチャレンジの申し込みは９月17日まで

今年も、こばやし健幸ポイントを活用して期間中の平均歩数を競う「企業対抗ウオーキングチャレンジ」を開催します。
ランキング上位チームには豪華景品を準備！申込期限は９月17日（水曜）です。健康づくりのきっかけとして、職場の仲間と一緒にぜひご参加ください！

●問＝企画政策課健康都市推進室　℡23-0456

期　間　10月１日（水曜）～10月31日（金曜）

ルール　期間中のチームの平均歩数を競います。

参加条件　以下の全てを満たしていることが条件です。

- 市内に所在地を有する事業所である。
- チーム参加者が５人以上で、全員が同じ事業所に勤務。
- チーム参加者が「健幸ポイント事業」に参加し、かつ「企業グループ」を登録している。

申込方法

「企業ウオーキンググループ申請書」に必要事項を記入し、メール（k_kikaku@city.kobayashi.lg.jp）で提出ください。
詳細は市ホームページ（二次元コード）から確認ください。

申込期限　９月17日（水曜）

日本のひなた宮崎国スポ・障スポ　小林市の話題
KOBASPONEWS Vol.5
国スポ開催まで 755 日　障スポ開催まで 782 日（９月１日時点）

▼ホームページ　▼Instagram

国スポ・障スポ情報発信中！

●問＝国スポ・障スポ推進室　℡27-3325

10/31締切

日本のふるさと宮崎国体 前回大会の写真やエピソードを募集します！

昭和54年に開催された「日本のふるさと宮崎国体」に関するエピソードや写真を募集します。
選手とのふれあいやまちの雰囲気、競技の様子など、前回大会に関する思い出や写真をお寄せください！
お寄せいただいた写真やエピソードは、国スポ・障スポ啓発イベントでの展示や広報紙での掲載を予定しています。

企画詳細

応募方法　住所、氏名、電話番号を記載し、以下の方法でお送りください

【写真】　下記応募先に直接お持ちいただくか、写真データをメールでお送りください。

【エピソード】　投稿フォーム（㊨二次元コード）か、はがき、封書、ファックス、メールでお送りください。

投稿フォーム

応募先　〒886-0004　小林市細野38番地１ 小林中央公民館２階
日本のひなた宮崎国スポ・障スポ小林市実行委員会事務局宛
FAX 27-3526　Mail k_kokuspo@city.kobayashi.lg.jp

※掲載に当たっては提供者のお名前を記載します。実名での掲載を希望しない場合は、希望しない旨とニックネームをお知らせください。

㊤県総合運動公園陸上競技場で開催された総合開会式の様子㊧市内で開催されたフェンシング競技（小林高校体育館）㊥炬火リレーの練習に励む東方小学校の児童の様子㊨バレーボール（少年女子）競技の開始式（市民体育館）

Topics

すき納涼花火大会で国スポ・障スポをPR！

８月９日に開催された「第46回すき納涼花火大会」で、宮崎国スポ・障スポのPRブースを出展しました。ブースではオリジナルうちわを配布したほか、オリジナルグッズが当たる抽選会をインスタグラム公式アカウントのフォロワー限定で実施。たくさんの方に足を運んでいただきました。
また、ステージで須木地区の小野湖で行われるカヌー（スプリント）とローイングの紹介などを行ったほか、国スポ・障スポ仕様の新衣装で登場したこすモ～と大会イメージソング「ひなたのチカラ」に合わせたダンスを披露しました。
今後も令和９年に開催される宮崎国スポ・障スポに向けてさまざまなイベントなどでPRを行い、大会を盛り上げて行きます。

写真㊧ステージで「ひなたのチカラ」ダンスを披露、㊥ガラポン抽選会、㊨国スポ・障スポ仕様の新衣装を着たこすモ～は子どもたちにも大人気

ご希望に応じて開催します！

地域や学校、さまざまな集まりの場などに職員が伺い、国スポ・障スポに関する講話を行います。
国スポ・障スポの紹介や「日本のふるさと宮崎国体」に関する話など、ご希望に応じて30分～１時間程度お話します。
希望する場合は、国スポ・障スポ推進室に電話（℡27-3325）で問い合わせいただくか、申し込みフォーム（㊨二次元コード）から申し込みください。

きずな協働体通信

このコーナーでは、市内９地区で設立された
「きずな協働体」の活動やイベント情報を紹介します！

すきむらづくり協議会

本格芋焼酎『すきはるか』発売中！

須木のブランド米、須木米と須木で収穫されたさつまいも、紅はるかで作る本格芋焼酎「すきはるか」を本年度も2千本の数量限定で発売しています。

「すきはるか」は紅はるかの優しい甘みと香りが際立ち、すっきりとした味わいで、飲みやすくおいしいと評判の焼酎。

飲みやすさ、おいしさが増した本年度の「すきはるか」をお土産などにいかがですか。

●問・すきむらづくり協議会 TEL 48-3451

数量限定で販売している「すきはるか」

SUKIMURAKYOU_KOUHOUBU

にっこばまちづくり協議会

放課後子ども教室の開催

放課後子ども教室の様子

にっこばまちづくり協議会では、青少年育成部会が中心となり、毎月第1・第3木曜日に「放課後子ども教室」を開催しています。これは、放課後に部会員やボランティアが子どもの宿題や遊びを見守る取り組みで、スタッフは40代から70代と幅広い年代で構成。時には、専門分野の講師を招くなどして、多様なスタッフを確保する努力をし、工夫しながら教材や遊び道具の充実も図っています。

今年度は、夏休み期間中にも西小林児童センターで教室を開催するなど、年に数回のみの取り組みではなく、定期的に行うことで、地域の子ども達とより親密な交流を目指した活動を進めています。

細野まちづくり協議会

細野まち歩きで健幸ウオーキング！

霧島岑神社スタート・ゴール

まち歩きを楽しむ参加者

@HOSONO_MACHIKYO

今年も細野まち歩きを開催します。霧島岑神社をスタート・ゴールとする約5キロのコースで途中のまきば演芸場ではプチイベントを開催するなど、子どもから大人まで楽しめます。

運動を始めるきっかけづくりや地域の人たちとの交流の場にもなりますので、家族や友人とぜひ参加してみませんか。

■日時　11月2日（日曜）10時ごろ
■場所　霧島岑神社スタート・ゴール
■参加料　大人500円／中学生300円／小学生100円
※健幸ポイント対象事業です
※詳細は今後チラシやSNSなどで確認してください

■地方創生課 TEL 23-1148

令和７年度 小林市総合文化祭

今年も芸術の秋に小林市総合文化祭（作品展・音楽祭・芸能祭）を開催します。作品展では市民を対象に出品者を募集します。小林・須木地区在住者の作品は小林会場、野尻地区在住者の作品は野尻会場に展示します。さまざまな作品や芸能文化などに触れ、芸術の秋を感じませんか。

問 社会教育課　TEL 22-7912

作品展　11月1日（土曜）・2日（日曜）

小林会場（市民体育館、中央公民館）

開催日時
11月1日（土曜）９時～20時
11月2日（日曜）９時～16時

募集内容
絵画、書道、写真、彫刻、陶芸、木工、手芸、竹細工、パッチワーク、生け花、盆栽、短歌、俳句など

申込締切　10月9日（木曜）
※短歌・俳句は9月25日（木曜）

作品搬入
10月31日（金曜）13時～20時

作品搬出
11月2日（日曜）16時～18時
11月4日（火曜）９時～12時

申・問
社会教育課　TEL 22-7912

野尻会場（野尻町農村環境改善センター）

開催日時
11月1日（土曜）９時～17時
11月2日（日曜）９時～15時

募集内容
絵画、彫刻、写真、書道、手芸、陶芸、盆栽、生け花など

申込締切　10月9日（木曜）
作品搬入　10月31日（金曜）　13時～20時
作品搬出
11月2日（日曜）15時～17時
11月4日（火曜）９時～12時

申・問
社会教育課　TEL 22-7912

音楽祭　10月26日（日曜）

開催日時　10月26日（日曜）
開場12時30分～、開演13時～
会場　文化会館大ホール
対象種目
コーラス・ピアノ・吹奏楽・管弦楽・箏・三味線・民謡・大正琴・詩吟など
問　文化会館　TEL 23-7400

芸能祭　11月2日（日曜）

開催日時　11月2日（日曜）
開場12時30分～、開演13時～
会場　文化会館大ホール
対象種目
日本舞踊・剣詩舞・民踊などの邦舞踊・フラダンス・バレエ・ヒップホップ・ジャズダンス・創作ダンスなどの洋舞踊・郷土芸能など
問　文化会館　TEL 23-7400

小林市立図書館
問＝TEL 22-7913

図書館からのお知らせ

★新刊本の入荷は毎週土曜

～ 児童書 ～

『彼岸花はきつねのかんざし』
作者：朽木 祥
画家：ささめや ゆき
発行：佼成出版社

～ 一般書 ～

『怪談　こわくて不思議な10の話』
作者：小泉 八雲
訳者：小宮 由
発行：アノニマ・スタジオ

休館と開館時間

【本館】毎週月曜は休館
◆開館時間　9 時～ 19 時　※日曜と祝日は 17 時まで
【須木分館】毎週月曜と祝日は休館
◆開館時間　9 時～ 17 時
【野尻分館】毎週月曜と祝日は休館
◆開館時間　10 時～ 18 時 30 分　※日曜は 17 時まで
毎月 1 日は館内整理日のため全館（本館・須木・野尻）休館

県立図書館の本を市立図書館で借りられる！

マイラインサービス

市立図書館に読みたい本がなくても、県立図書館に所蔵がある場合に取り寄せることができるサービスです。（配送料は不要）
市立図書館カウンターで申し込み・本の受け取り・返却ができます。

検索　県立図書館ホームページか市立図書館のカウンターで借りたい本を検索
▼
申込　市立図書館カウンターで申し込み
▼
貸出　県立図書館から届いた本を市立図書館で貸し出し
▼
返却　市立図書館カウンターで返却

こばまち便り

大人も子どもも小林駅に全員集合！

「第４回シン・こばやし夏まつり」を開催！

9月14日（日曜）に、今年で第４回目となる「シン・こばやし夏まつり～小林駅だヨ！全員集合～」を開催します！
昼の部では、スケボー体験やストライダー体験など子ども向けレクリエーションを準備。水鉄砲対決では、チーム戦や当日受付可能なバトルロイヤルでの対決も。参加者にはプレゼントもありますので、ぜひご参加ください！
夜の部は、地元アーティストが歌やダンスなどで祭りを盛り上げます。
キッチンカーや屋台の出店など、おいしいものも盛りだくさん。当日は豪華景品が当たる抽選会も開催します！
ＫＩＴＴＯ小林２階では「ＫＩＴＴＯ ＣＯＯＬお化け屋敷」も同時開催。昨年よりパワーアップして今年もやつらがＫＩＴＴＯくる…。
三連休は大人も子どもも小林駅に全員集合！

[日程] 9月14日（日曜）
※雨天時は翌日に順延
[時間／場所] 昼の部 11 時～／ふれあい広場、夜の部 15 時～／小林駅南（抽選会は 14 時～ 20 時 30 分／駅南公園駐輪場）

小林まちづくり株式会社
〒886-0008
小林市本町16番地
［平日］8時30分～17時15分
TEL 27-3280

vol.30

健幸のまちづくり拠点施設整備 つうしん

体育館の屋根がもうすぐ完成！

これまでお知らせしてきたとおり、新体育館の建設工事は着々と進んでいます。現在は、体育館の屋根を工事中で、９月中には完了する予定です。
工事の進捗についても、計画どおり順調に進んでいます。屋根の完成後には、現場見学会も計画中。準備が整い次第、現場見学会の日程などをホームページでお知らせします。

●問＝建設課　TEL 23-0311

覚えてみよう！使ってみよう！

手話で話そう！

問＝福祉課　TEL 23-0111

日常会話で使える手話を毎月紹介します。手話を使ってろう者の方とコミュニケーションをとってみませんか？

運動会

モデル：須木中３年Ａ組　永迫（ながさこ） 志穏（しおん） さん

1 親指を上にして握り、腰の高さで腕を振ります。
2 口ぐらいの高さで指先同士を斜めにつけ、そのまま斜めに腕を引きます。

星

モデル：西小林小５年１組　大山（おおやま） 優羽（ゆう） さん

両手の５本の指をつまんでを頭の上にあげ、
指を開閉させながら外側へ動かします

元気の知恵袋

●問＝健康推進課　TEL 23-0323

あなたの骨は大丈夫？

～すすめよう！健幸こばやし21（第三次）女性の健康編～

市は「健幸こばやし21（第三次）」に基づき、市民の健康づくりを進めています。
中でも女性の健康を守る取り組みとして、今年度から女性を対象に集団検診で、骨粗しょう症検診を始めました。
骨粗しょう症は骨密度が低く骨折しやすくなる病気で、自覚症状は少なく骨折を起こすと寝たきりや認知症のリスクが高まります。
予防には、カルシウムやビタミンDの摂取、禁煙や過度な飲酒の制限、適度な運動などが効果的です。
ぜひ、検診で骨の状態を把握し、生活習慣の見直しにつなげましょう。
また、胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんなどのがん検診も実施しています。がんも骨粗しょう症も早期発見が重要です。ご自身の健康を守るために、対象の年齢になったら定期的に検診を受けましょう。

市の骨粗しょう症検診（集団）

検査方法	超音波を用いて、くるぶし付近の骨密度を測定
対象者	40 歳、45 歳、50 歳、55 歳、60 歳、65 歳、70 歳の女性

▼市の健（検）診についてはコチラ
▼骨粗しょう症について詳しくはコチラ

骨密度を上げるための食事

カルシウム
乳製品（牛乳、ヨーグルト）、小魚（しらす、いわし）、豆腐、小松菜などに含まれます

ビタミンD
鮭、干し椎茸、キクラゲなどに含まれ、カルシウムの吸収を助けます

ビタミンK
納豆、ほうれん草、ブロッコリーなどに多く含まれ、骨の質を高めます

タンパク質
肉類、魚類、大豆製品、乳製品などに含まれ、骨を構成する重要な栄養素です

●納付・納税・年金　ほけん課 TEL 23-0116　税務課 TEL 23-0115　市民課 TEL 23-1112

種　類	月　日	場　所	時　間	備　考
休日納付・納税相談窓口	9月21日（日）	ほけん課・税務課窓口	8：30～17：15	※ 毎月第3日曜日
年金移動相談　※要予約	9月18日（木）	市役所本館1階 相談室	10：00～15：00	予約：都城年金事務所

※年金移動相談は、事前に都城年金事務所（TEL 0986-23-2571）に電話予約をお願いします

二原遺跡公園公開日

9月21日（日曜）
時間　9：30～11：30

農地移動申請

場所　農業委員会事務局
時間　9時～17時
受付締切日　9月10日(水曜)

税・保険料の納付期限

※納期限は9月30日（火曜）です

- 固定資産税・都市計画税　3期
- 介護保険料　3期
- 国民健康保険税　3期
- 後期高齢者医療保険料　3期

これは何ごみ？答え

缶本体は、

『リサイクル品』です。中をすすいで出します。本体にアルミマークがある場合は「アルミ缶の網」スチールマークがあれば「スチール缶の網」に入れます。分からない場合は「その他の缶類の網」の中へ入れます。

ふたは、

『燃やさないごみ』です。

●問＝生活環境課　TEL 23-8122

市公式SNS

公式LINE・Facebook・X（旧Twitter）・Youtubeでも、さまざまな情報を発信中！

市公式LINE

市公式Facebook
『よかとこ小林市』

市公式X
『よかとこ小林市』

市公式Youtube
チャンネル

●人権・行政・なやみごと相談　市民課　TEL 23-1141

月	日	曜	種　類	会　場	時　間
9	16	火	人権・なやみごと	市役所東館1階会議室4	10：00～15：00
10	2	木	人権・なやみごと	野尻町保健福祉センター	
	7	火	人権・行政・なやみごと	須木総合ふるさとセンター	

西諸県地域消費生活相談窓口（消費者トラブル相談）

場 市民課内　日 平日9時～12時、13時～16時
問 ☎23-1179　もしくは　消費者ホットライン【☎188（局番なし）】

ひとりで悩まずお話しください

◆こころの電話相談　NPO法人こばやしハートム　月 20時～22時　☎27-1850

◆お悩み傾聴ダイヤル	下記日時以外		☎0570-783（なやみ）-755（ならここ）
◆こころの電話相談	月～金	9時～19時	☎0985-32-5566
◆NPO法人国際ビフレンダーズ宮崎自殺防止センター	日月水金	20時～23時	☎0985-77-9090
◆NPO法人宮崎いのちの電話	月水金	21時～4時	☎0570-783（なやみ）-556（こころ）
	日火木土	18時～4時	

その他の相談会や集い（参加希望者は事前に連絡ください）

小林保健所の相談会（場小林保健所 問23-3118）

▼アルコール家族教室（アルコールで悩む本人・家族）
日 毎月第2火曜 時13時30分～15時30分

▼ひきこもり・こころの健康相談
日 9月は第5火曜 時13時30分～15時30分

▼わかちあいの会（自死遺族のつどい）
日 毎月第4木曜 時13時～15時

小林こすもす家族会

精神疾患“学び合い”“助け合い”
“笑い合う”家族会です
日 毎月第2水曜
時 13時30分～15時30分
場 市民活動支援センター
問 TEL 080-6423-5858

リサイクル日程

生活環境課　TEL 23-8122
小林市清掃工場 TEL 24-0959
須木住民生活課 TEL 48-3132
野尻住民生活課 TEL 44-1100

区	9月	10月
水流迫、東方1・2	2	1
真方1・2・3	1	2
南西2・3、通り町	3	3
南西1の西、南西4本町、新生町	4	6
南西1の東、種子田	5	7
北西1・3、緑町	8	8
北西2、坂元	9	10
西町1・2・3南島田	11	9
仲町、永田町、後川内	10	14
細野2・3、南真方	12	23
細野1、南真方西	16	24
南真方東上町・上町西	17	28
上町中、上町東上町北	26	29
西堤、南堤	18	30
北堤	30	31
野尻地区（第3日曜）	21	19
須木地区（第4日曜）	28	26

今月の これは何ごみ？

「缶」
（答えは左のページ）

● 育児・親子健康日程

問：こども課　TEL 23-4319

種　類	月　日	時　間	会　場
妊婦健康相談 母子健康手帳発行	毎週月曜 （祝日除く）	受付 9:00～11:30	小林市保健センター
沐浴体験 （要予約）	9月22日（月）	13:30～15:30	
キッズフロア	10月1日（水）	受付 9:30～11:00	
もぐもぐクッキング （要予約）	9月17日（水）	受付 13:45～14:00 開催 14:00～15:30	
赤ちゃん健康診査	9月18日（木）	※個別に案内しています	
1歳6か月児健康診査	10月2日（木）		
3歳児健康診査	9月11日（木）		
	10月9日（木）		
歯っぴ～教室 （要予約）	10月7日（火）	受付 13:15～13:30	

● にこにこ運動教室（13：30～15：30）

問：社会福祉協議会野尻支所　TEL 44-1206

場　所	9月	10月
野尻町保健福祉センター	30日（火）	7日（火）

●健康相談

問：健康推進課　TEL 23-0323

月	日	曜	種　類	会　場	時　間
平日（祝日を除く）			健康相談 （体組成計・血管年齢測定）	小林市保健センター	8：30～17：15 （要予約）
9	11	木	まちの保健室	コープみやざき小林店	13：30～15：30
9	16	火	まちかど健康相談	コープみやざき小林店	13：30～15：30
9	25	木	まちの保健室	コープみやざき小林店	13：30～15：30
10	1	水	まちかど健康相談	プラッセだいわ小林店	13：30～15：30

日曜祝日在宅当番医（原則として9時から17時）

月	日	曜	在　宅　医	電話番号
9	14	日	槇内視鏡内科医院	22-2819
			整形外科押領司病院	22-3131
	15	月	柊山医院	22-2503
	21	日	ほりファミリークリニック	23-3988
			押川病院	44-1005
	23	火	小林泌尿器科クリニック	25-0505
			整形外科前原病院	23-1711
	28	日	池田病院	23-3535
			小林保養院	22-2836
10	5	日	くすもと内科クリニック	23-1115
			野尻中央病院	44-1141

※変更になる場合もありますので、各医療機関にご確認ください

地域おこし協力隊通信

黒部隊員の活動の様子を紹介！

地方創生課 TEL 23-1148

栗園の夏、にわか農家ひとり攻防戦

こんにちは。地域おこし協力隊の黒部有人（くろべありと）です。この春から、栗園の管理を本格的に始めました。秋の実りを目指して、今は栗園の環境を整える毎日です。

7月は、栗の木の周囲を丁寧に草刈りしながら、防獣ネットの設置にも取り組みました。イノシシやシカによる被害を防ぐため、支柱を立て、網目の細かいネットを張っていく作業。炎天下、草の匂いや土の感触を感じながら、少しずつ景色が整っていく手応えがあります。

一方、虫との格闘も続いています。自分の手で枝を継いだ若い木に小さな羽虫が群がり、やわらかい葉を食い荒らしてしまいました。今年は農薬を使わない方針のため、こまめに通っては目で見て、手ですくって、一匹ずつ向き合っています。見慣れない虫に出会うたび、ネット検索しては「これは敵か？味方か？」と首をかしげています。

単調なようで、意外と頭と体を使う作業の連続。それでも、整えられていく栗園の風景には、不思議と前向きな力が宿っているように感じます。

いつかこの場所が、人を迎える栗園として形になれば――。

そんな思いを胸に、にわか農家の挑戦は続きます。

インスタで情報発信中！

KUROBE.CO.CREATIONS

人のうごき（小林市の人口）

人口	40,354人	（－51、－823）
男	18,800人	（－8、－388）
女	21,554人	（－43、－435）
	18,936世帯	（－31、－178）

令和7年8月1日現在現住人口　（前月比、前年同月比）

現住人口：国勢調査人口（実際に居住している人口）をもとに、その後の転入・転出、出生・死亡などを増減して算出する人口。

火災・救急発生状況

種別	7月	累計	昨年
建物	1	12	＋4
林野	0	0	±0
車両	0	1	±0
その他	0	7	－4
救急	216	1377	＋54

交通事故発生状況

種別	7月	累計	昨年
人身	11	60	－2
物損	79	498	－39
死者	0	0	－2
負傷者	13	73	－1

全国死者　1346（昨年同月比　－63）

Instagram & 広報こばやし ＃ハッシンコバヤシ

小林の〝よかとこ〟をハッシンしよう！
投稿写真から数点を広報紙で紹介♪

▲詳細はコチラ

「ハッシンしたい小林の魅力」を写した写真に「＃ハッシンコバヤシ」のハッシュタグを付けて、インスタグラムに投稿しませんか。市内で撮影したものであれば、景色、日常風景なんでもOK。

@1110isabella さん

＃めろめろメロン

@tomoko_yo119 さん

＃三之宮峡　＃櫓の轟

@ikei_yokikai さん

＃就職フェア　＃池井病院

こすモ～にき diary

画：友安よーいち

第119話「ズズズー」

広報紙へのご意見・ご感想をお気軽にお寄せください

読んだ感想や、こんな情報が知りたい、この人を取材してほしいなどのご意見を、二次元コードからお寄せください。

心の花びら

樫茂る無人神社を掃き清む（小林合歓の会　内田トシ子）

俳句会恩師を偲ぶ蝉の声（小林合歓の会　淵上律子）

千の風のタエ子師連れ来三年忌
（小林合歓の会　海蔵由喜子）

梨の実の袋に積もる火山灰の黒
（からくに句会　中園直子）

季節は往く早苗は青田はや稲田（東脇哲郎）

一番乗り汗水拭き拭き備蓄米（長友正臣）

盆前に新燃岳噴火先祖さん
年いちど帰り道塞ぎおる（武ナミ子）

SUKU SUKU

すくすく募集中！

【申・問】
・企画政策課　TEL 23 - 0456

申し込みはコチラ↑

松尾 桔妃 ちゃん

令和7年3月26日生

お姉ちゃんが大好きな桔妃ちゃん♡これからも２人で元気に仲良く遊ぼうね♪
保護者：松尾一誠・結花

上原 日七・陽愛・詠愛 ちゃん

令和元年12月17日生、令和４年5月12日生、令和7年6月7日生

三女のえまが産まれて、お世話しようしてくれて、助かってます★お姉ちゃん達いつもありがとう！
保護者：上原光貴・瑠領亜

＜編集後記＞

今年もすき納涼花火大会に行ってきました。毎年のことですが花火の撮影は緊張します。昨年は雨でカメラが濡れてしまいましたが、今年は晴れ。天気を言い訳に出来ませんでした。（榎田）

今号では小林市豊かな学び支援室を特集しています。今後の市教育についてたくさん学ぶ機会となりました。多くの人が活用したり市の取り組みを知ってほしいと思います。（井手平）

■編集発行／小林市総合政策部企画政策課　〒886-8501　小林市細野300番地
TEL 0984-23-0456　FAX 0984-22-4177　■ホームページ　http://www.city.kobayashi.lg.jp

小林市は「核兵器廃絶・平和都市」、「人権擁護都市」
「地域医療・健康都市」、「ゼロカーボンシティ」を
宣言しています。

広　告

広報こばやしでは、収入確保対策として有料広告を掲載しています。
広告内容は市が推奨するものではありません。掲載している広告の内容などへの問い合わせは、直接広告主へお願いします。